



図 2. $0.3 \times 0.3^\circ$ のウィンドウごとの平均の積算すべり (カラー). (a)2011/3/11-2011/5/11, (b)2011/3/11-2011/7/11, (c)2011/3/11-2011/9/24. 黒色コンターは飯沼・他 (2011, 地震学会) による地震時すべり分布. 灰色コンターは Yamanaka and Kikuchi(2004)による M7 以上の地震のアスペリティ. (d) は, 国土地理院による GPS データを用いた余効すべり分布 (<http://www.gsi.go.jp/common/000062672.pdf>). ◆宮城県北部から岩手県沿岸にかけての地震時すべりの深部延長で大きなすべりが見られる. すべりは時間とともに若干, 南北に広がっているように見える. 国土地理院による余効すべり分布と比べると宮城県北部から岩手県沿岸にかけて大きなすべりが見られる点, 福島県南部から茨城県沖では, 海岸直下のプレート境界深部よりもやや沖側 (プレート境界浅部) で大きな余効すべりが見られる点がよく似ている.